

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式 歳晚祭

十二月三十一日 午後 時

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。 ※参列自由ですが、出来ない場合は、神社よりお配りした形代(大形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。お正月様袋に同封)

○元旦祭 家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日を拝む会

一月一日 午前六時半

新年を言祝ぎ、皇室並びに国家の弥栄、氏子崇敬者の平安と幸福を祈念します。 ※ごなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暁まわり・小正月 女正月

一月十五日 志 午前零時

日本各地にて厄落としての行事が行われており、当社にては、古より特にこの日に厄祓を行っております。

○どんと祭 人形感謝祭同日斎行

一月十五日 志 午前六時～八時半

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。役目を終えた人形等をお預り致します。

坪沼八幡神社社報

祝

坪沼祭ばやし保存会結成三十周年



坪沼祭ばやし保存会結成30周年記念公演の様子

◆神の恵みと祖先の恩とに感謝しましょう

◆初詣は先ず氏神さまの八幡様へ

◆毎月二十五日は神社をお参りする日

奉賛 伊勢神宮式年遷宮 平成二十五年

◆御祈禱のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前零時～午後四時

※ 随時御奉仕しておりますが、お受け出来ない時間もありますので事前にご連絡下さい

※ 元旦午前九時午後三時までには兼務社出向の為宮司不在につき、神職の本田様に、祈禱をお願いしております(ことを申し添えます)。

二日以後は通常通り予約制にて午前九時～午後四時頃まで毎日行います

家内安全、厄除、商売繁盛、合格祈願 等

○年末年始 神棚祭 氏神祭 家祓等

要予約

平成二十三年厄年表

お早めにお祓いをお受け下さい ※上・生まれ年/下・数え年

	前厄	本厄	後厄
男性	昭63年 24歳	昭62年 25歳	昭61年 26歳
	昭46年 41歳	昭45年 42歳	昭44年 43歳
	昭27年 60歳	昭26年 61歳	昭25年 62歳
女性	平6年 18歳	平5年 19歳	平4年 20歳
	昭55年 32歳	昭54年 33歳	昭53年 34歳
	昭51年 36歳	昭50年 37歳	昭49年 38歳

坪沼八幡神社社報 第九号  
発行所 坪沼八幡神社社務所  
代表者 宮司 高山晃和  
仙台市太白区坪沼字鶴前六十九  
電話 二八二一五八九 FAX 〇六五一

二 挨拶

今年になって、日本を取りまく情勢は、領土問題など、憂慮すべき事案が次々と噴出しはじめており、これも、外交面や経済面において国際的な日本の立場が弱まってきたからだと思わざるを得ません。

他国から尊敬されたかつての「日出ずる国・日本」はどこへやら。戦後には経済の発展のみ傾注し、現代社会に様々な問題を生じさせましたが、今になるとその経済すらも危うくなつてしまいました。しかし国を形成するのは国民一人一人であり、これまでに発展を担った先人達を見ますと、勤勉さによって成し得たのだと分かりますが、その原動力となつたものは、人づくりに他なりません。

我が国は神代の時代から皇室を中心に国民が協力しあつて国づくりを行い繁栄を築いてきました。その悠久の歴史の中で培われ、連綿と受け継いできた規範や生き方を示したものが、それが教育勅語であります。今年丁度渙発百二十年に当たります。明治時代、開国とともに近代国家の建設が進められ、教育の普及にも力が注がれま

一月の行事 予定

○二日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節祭 奉祝県民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日頃 祈年祭

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成二十三年の例大祭は四月十五日を守りつつ、九日(志)に神輿渡御、十日(旦)に奉祝行事を行いたいと思っております。

坪沼カラオケ教室からのお知らせ

歌い初め歌謡ショー・一月十六日十二時

ホームページ <http://hatanuma-jp.net/> 閲覧下さい

編集後記

今年夏は夏の異常な暑さが印象的な一年でした。気候もせわしい世の中、呉々もお体お大事に！さて、来年は卯年、卯の刻は明け方を指し、草木が地面をおおうようになった状態を表します。開けない夜はなし。いよいよ夜明け、日頃より神仏を敬う心が自然に幸せを呼びよせるようです。

した。しかし当時は文明開化の風潮により、我が国伝統の倫理道徳に関する教育が軽視される傾向にあったため、世は乱れ混んとした時代となりました。実情を深く憂慮された明治天皇は、徳育の振興が最も重要であるとされ、わが国の教育方針を明らかにするため明治二十三年十月三十日教育勅語を渙発されました。このことは明治・大正・昭和の三代を貫いて、我が国の発展の礎となりました。

しかし敗戦とともに、アメリカは戦勝国の論理により、軍国主義の象徴と歪曲して、教育勅語を失効させました。結果、国民精神は著しく低下し、現在では極端な個人主義が横溢し、教育現場はもとより、地域社会、家庭においても深刻な問題が多発するようになりました。

教育勅語をあらためて読んでみると「父母は孝に、兄弟は友に、夫婦相和し、朋友相信し」等、現代の私達にとってもなんら違和感のないあたりまえの道徳観であり、人間教育の基本であります。

今こそ、民族の歴史と伝統に根ざした普遍的な根本指導原理である教育勅語の精神を再認識し、道義国家日本再生のために、精進努力しなければなりません。

【お正月様と一緒に刷り物を入れておりますので、神棚や居間等にお貼り下さい。】

夏越大祓式齋行

全国の神社では、一年間を無事に過ごすことを祈念して年に二回大祓式が執り行われる。当神社においても一年の半ば七月四日(日)午後三時より夏越大祓式が齋行された。



茅の輪くぐりをする参列者

古来より 水無月の夏越の祓いする人は千歳の命のぶといふなり」とうたわれ、参列者は宮司に続き 形代祓いと 解き縄祓い 茅の輪くぐりを行い心身の罪・穢れの一切を祓い清めた。尚、予めお預かりした人形は、身代りにお祓いを受けた後、大海原に祓い流された。終わりに、婦人部の協力により直会を社殿脇で行い、ともどもに残る半年の無病息災を祈った。



なごやかに行われた直会

新嘗祭齋行

今年も十一月二十一日(日)午後二時より、収穫を感謝する恒例の新嘗祭が総代 若長ら参列のもと厳粛に齋行された。氏子より奉納された新穀などが当日御神前に献備され、終了後の直会では神社に協力頂いたみなんで芋煮を食し収穫を祝った。



真心が捧げられた御神前

新嘗祭は古くから天皇陛下がその年に収穫された新穀や新酒を天照大御神をはじめとする天地の神に供える儀式であり、穀物の豊穰と産業の発展を祈る二月十七日の祈年祭と並ぶ大祭として全国の神社にて執り行われる最も重要な祭儀である。



新嘗祭の直会風景

七五三詣

今年も坪沼幼児学園の子供たちが七五三参りに来ました。神社では毎年子供達に健やかな成長を祈念した千歳飴を授与しております。



元気な園児達

神社研修旅行(祭囃子保存会合同)

七月二十四・五日と二泊りに研修旅行を実施、金華山黄金山神社と石巻の牧山は零羊崎神社を訪れました。今回は特に金華山の蛇踊りで有名な竜神祭に際し保存会結成三十周年を記念して祭はやしを奉納致しました。神域で過ごした二日間、総代他氏子総勢二十一名、研鑽と懇親を深める有意義な旅行となりました。



金華山一番祈祷のようす

第二十二回「蛭と平家琵琶の夕べ」開催

ふるさと坪沼実行委員会主催

七月十日(土)午後六時過ぎより神社境内で二十二回目を飾る坪沼の夏の風物詩「蛭と平家琵琶の夕べ」が今年も天候にも恵まれ、千人以上の人達を迎え盛大に開催されました。家族連れなどが目を輝かせてホテル狩りをする姿には坪沼の大切な役目を感じるとともにより一層地域を挙げての内容にしたいかなければならないと思います。尚、会では蛭の生息地として神池の整備も継続実施しております。



琵琶の音に聞き入る聴衆

坪沼の昔めぐり

大仏岩

第三回

坪沼から赤石に通じる林道に、大仏橋がある。橋の西方に奇岩絶壁数十尺、仰いて天を望むべき所あり、その一面に自然石の大仏がある。前方の平坦な所は大仏堂伽藍のあった所だといわれ、岩下には、寛永十七年(一六四〇年)に、長年忘れられていた大仏岩を発見した時の碑がある。今は自然石の阿弥陀尊も荒廃し草木に覆われて尊崇を拝するものなく、一片の奇岩として顧みられないが、維新前は多数の参拝者があったという。この度、道路沿いに やるつちやツボヌマ」により、碑文の内容や 大蛇伝説」等を説明した史跡看板が設置されたので、皆さんにもお参り頂きたいと思ひます。



神社協力会だより

協力会は今年も例大祭をはじめ神社の各種行事に御奉仕をいただき、新嘗祭では芋煮会の準備等を行って頂きました。また、神池の整備にも関係団体と一緒に取り掛かって頂きました。年末年始には新年を迎えるにあたって大門松や飾り付け等様々な御奉仕をいただく予定です。



芋煮会のようす

敬神婦人会だより

今年も敬神婦人講の皆さんには例大祭をはじめ、数々の行事にご奉仕を頂き、各行事の直会では、役員の皆さんが中心となって、美味しい手料理を提供いただきました。また年二回の清掃奉仕では、すみずみまで境内を綺麗にして頂き、御婦人方の力には本当に感謝しております。また県敬神婦人連合会

大会が鹽竈神社開催され、多くの敬神婦人が集い研鑽を深めました。帰路には松島水族館に立ち寄るなど楽しく活動しております。



鹽竈神社の前で

祝 坪沼祭はやし保存会結成三十周年

本年は、坪沼八幡神社祭囃子」を伝承する保存会が結成されてより三十年を迎えました。平家の落人伝説にはじまり、代々受け継がれてきた祭囃子は、一時途絶え掛けたものの昭和五十五年保存会が発足、同時に坪沼小学校でも取り組むこととなり、以後今日まで保存会有志とたくさんの子供たちが地域の誇りをもって演奏してまいりました。近年では若い後継者も徐々に増え、後援会も出来るなど、地域を挙げての支援と保存会会員のため努力によりつて今では地域外にまで注目されるようになりました。この度、結成三十周年にあたり、十月十一日には 坪沼小学校校舎・コミセン新築十周年記念事業」として体育館において記念公演が開催されました。関係各位のご協力に感謝申し上げます。この素晴らしき伝統を末長く護り続けるため、なお一層の御支援を宜しくお願い申し上げます。



保存会メンバーによる演奏



会場一杯の来場者